

『高校生ICT Conference 2016 in 石川』を開催

ネットトラブル！どうする？【予防】と【対策】～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～

総務省は、平成28年9月19日（月）、石川県女性センターにおいて、安心ネットづくり促進協議会（会長 新美育文）、大阪私学教育情報化研究会（会長 馬場英明 羽衣学園中学・高等学校 校長）、一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構（代表理事 高橋正夫）及び、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会（代表理事 安田浩）とともに、高校生によるワークショップ「高校生ICT Conference 2016 in 石川」を開催し、石川県内の高校7校から生徒26名の参加がありました。



挨拶する増田課長



司会の米田委員長

冒頭、北陸総合通信局から増田和宏 電気通信事業課長が「インターネット上のトラブルや被害等は他人ごとでなく、使い方を誤ると自身が被害者にも加害者にもなりうること。インターネットの危険性に対する『気づき』、安全利用のために必要なマナー・姿勢・モラルを『学ぶ』こと、そして『実践』することがとても重要」と挨拶しました。

次に、文部科学省から土肥克己 氏（生涯学習政策局青少年教育課長）が「ネットばかりではなく、青少年の方にはいろいろなことをやってほしい。ネット依存も増えており、ネットも節度を持って使ってほしい。今日学んだことを周りの人たちに広めてほしい」と挨拶されました。

高校生ICTカンファレンス実行委員会の米田謙三委員長の司会により開始され、第一部では、中村広毅 氏（(株)サイバーエージェントメディアサポート室長）が「ネットトラブル～Amebaでの事例～」と題して、細川一人 氏（KDDI（株）北陸総支社管理部）が「ケータイ・スマホはとても便利！でも使い方には注意！！」と題して、青少年のネット利用における現状と課題などについての講演がありました。

第二部では、高校生による熟議として、参加者を5グループに編成した上で、中村氏や金沢大学の大学生等をファシリテーターとして配置し、それぞれのグループにおいて熱心な議論と取りまとめが行われました。その後のグループ発表では、1班は「安全にネットを利用するため～予防と対策～」、2班は「トラブルを考える～自分が当事者になりきって考えてみよう～」、3班は「ネットトラブルの予防と対策～個人情報流出を中心に～」、4班は「親しき仲にも礼儀あり！！」、5班は「本当に知りたいネットトラブル対策」と題して、アイデアを凝らした若者らしい発想でユニークな意見や提言などが発表されました。また、来る11月3日（木）、東京において「高校生ICT Conference 2016 サミット」*が開催されますが、厳正な選考の結果、石川県立金沢二水高等学校が7校の代表として参加することが決まりました。

* <http://www.good-net.jp/ict-conference/2016/000964.html>



討議中の高校生グループ



講評する浅野教授



グループ発表

最後に、高校生ICT Conference 2016 in 石川実行委員会の浅野秀重委員長（金沢大学教授）が、高校生の皆さんに伝えたいこととして、「『学び』の側面として、知るための学び、行動するための学び、共に生きるための学び、共存し続けるための学びがあること、また、『ICT』の意味のとらえ方として、情報＝情けの知らせ、通信＝双方向的やりとり、技術＝行動できるための技術・知恵であると考えている。教育には担い手（ビルダー）を育てるという意味が込められており、本日のような自分作りの『学び』を続けていって欲しい」と講評し、高校生ICTカンファレンスを締めくくりました。

お問い合わせ先：情報通信部電気通信事業課 電話 076-233-4422